

分野	科目名	単位/時間数	時期	担当教員
基礎分野	心理学	1単位30時間	2年	非常勤講師

授業のねらい

ヒトの何気ない行動や判断には、心が大きくかかわっている。心理学とは「こころとは何か」を解明する学問であり、目に見えない心のはたらきを研究する学問である。本講義では心理学の基礎的な理論をもとに、①自己や他者の理解に向けた心理学の学びを深めること、②心理学の理論を自分自身の生活と関連づけて理解すること、③心理学について学んだことを日常生活や看護臨床の場に適用できるようになること、を目的とする。

授業計画

第1回	心理学とは
第2回	感覚と知覚、記憶
第3回	思考・言語・知能
第4回	学習
第5回	感情と動機づけ
第6回	性格とパーソナリティ
第7回	社会と集団
第8回	発達 ①乳幼児期
第9回	発達 ②児童期・青年期
第10回	発達 ③成人期・老年期
第11回	心理臨床 ①適応・不適応
第12回	心理臨床 ②心理療法
第13回	医療・看護と心理 ①医療職と対人援助職／患者の心理
第14回	医療・看護と心理 ②医療・看護職の心理／医療・看護職の心のケア
第15回	試験

授業方法 講義

教科書 系統看護学講座 基礎分野 心理学 : 医学書院

評価方法 定期試験により行う。

分野	科目名	単位/時間数	時期	担当教員
基礎分野	教育学	1単位30時間	1年前期	非常勤講師

授業のねらい

この授業の目的は、(1)教育学の基本的なカテゴリーを整理する。(2)「教育」、「ケア」、「多様性」、「共生社会」をキーワードに、教育の現状と課題を理解する。(3)成人基礎教育の視点から看護・医療の専門職として自らの成長の意味を考える。(4)グループディスカッションで複数の人とコミュニケーションを取り、自分の考えを表現して相手に伝えることが出来る。

授業計画

第1回	オリエンテーション(教えると学ぶの意義)
第2回	社会の中の教育と看護
第3回	教育制度と発達保障の現状①教育を受ける権利
第4回	教育制度と発達保障の現状②教育の場の変動
第5回	教育とケア①—教育を受け手を見守る
第6回	教育とケア②—教育を受けて成長する
第7回	現代教育現場の課題①:キャリア教育
第8回	現代教育現場の課題②:ジェンダーとセクシュアリティ
第9回	現代教育現場の課題③:特別ニーズ教育・インクルーシヴ教育
第10回	現代教育現場の課題④:生涯学習・シチズンシップ教育
第11回	フィールドワーク:文献調査①(拓殖大学北海道短期大学)
第12回	フィールドワーク:文献調査②(拓殖大学北海道短期大学)
第13回	研究発表準備②
第14回	研究発表準備①
第15回	本授業のまとめ—研究発表会:多様性・共生社会のめざす教育の在り方—

授業方法 (1). 本授業では、授業計画にある「教育」、「共生社会」、「多様性」、「共生社会」の概念について講義・文献・映像資料から学ぶ機会を設ける。(2). 授業で取り上げたテーマから自らの関心や課題を見つけ、関連する文献を図書館で調べ集めて情報をまとめる機会を設ける。(3). (1)(2)で学習したことをグループディスカッションを通して自らの考えを深める機会を設ける。(4). すべての人が多様性を尊重しながら、教育を受けられ、生きることが出来る共生社会の在り方を考え、社会に求められていること、そして、自分自身ができることを考え報告する発表会を設ける。

教科書 系統看護学講座 基礎分野 教育学 : 医学書院、配布資料

評価方法	出席・授業後のミニレポート	30%
	報告会	30%
	最終レポート	40%

分野	科目名	単位/時間数	時期	担当教員
基礎分野	哲学	1単位30時間	1年前期	非常勤講師

授業のねらい

哲学は人間が自己と世界を総体的に把握しようとする知の営みの一つである。この授業では、人間として生きる上で関わる多様な物事を原理的に把握する思考へ向かうことによって、私たちが人間としてどのように生きるべきかを幅広く考えることをねらいとしている。

授業計画

第1回	1.哲学とは～愛知
第2回	1.哲学とは～言葉と論理
第3回	2.人間とは～人間把握の三契機
第4回	2.人間とは～人間関係論
第5回	3.社会とは～社会の捉え方
第6回	3.社会とは～現代社会の動向
第7回	4.自然とは～自然の捉え方
第8回	4.自然とは～自然との共生とは
第9回	5.情報とは～図書館ガイダンス
第10回	5.情報とは～情報リテラシー
第11回	6.生命と自由とは～人間的生命とは
第12回	6.生命と自由とは～人間的自由とは
第13回	7.生命倫理～生命倫理と医療倫理
第14回	7.生命倫理～生命倫理と看護倫理
第15回	8.人間の哲学とは

授業方法	講義
教科書	指定しない
評価方法	平常点30% 小テスト・レポート30% 読書・課題レポート各20%

分野	科目名	単位/時間数	時期	担当教員
基礎分野	情報科学	1単位30時間	1年前期	非常勤講師

授業のねらい

高度情報化社会におけるニーズおよびコンピュータの利用について基本的なルールおよび情報リテラシーを習得することを目指す。特に、Excel、Word、PowerPointに「ついては具体的な使い方を学習し、データ整理、ドキュメントの作成、プレゼンテーションの仕方を習得する。

- 第1回 情報科学概論Ⅰ（「情報」とは）
- 第2回 情報科学概論Ⅱ（情報リテラシー他）
- 第3回 社会・保健医療・看護と情報
- 第4回 医療における情報システム
- 第5回 情報倫理と医療/個人情報保護
- 第6回 コンピュータに関する基礎知識
- 第7回 PCの基本操作
- 第8回 Excelによる統計解析①
- 第9回 Excelによる統計解析②
- 第10回 Excelによる統計解析③
- 第11回 Excelによる統計解析④
- 第12回 Wordの使い方①
- 第13回 Wordの使い方②
- 第14回 PowerPointの使い方①
- 第15回 PowerPointの使い方②

- 授業方法 講義・演習
- 教科書 系統看護学講座 別巻 看護情報学：医学書院
- 評価方法 レポートおよび出席状況

分野	科目名	単位/時間数	時期	担当教員
基礎分野	文章表現	1単位15時間	1年前期	非常勤講師

授業のねらい

医療現場においては、看護師は、医療チームの一員として役割を果たすために、複数のメンバー間で、適切に情報を伝達・共有することが求められます。また、健康上、何らかの病を抱える様々な年代の患者の方々と日本語を用いてコミュニケーションを図り、患者の方々が何を求めているのかを適切に把握し、なおかつ、医療側の方針を簡潔にわかりやすく伝達しなければなりません。この講義では、「読む」「書く」ことをする上での基本的な事項を理解し、日本語を正確に使用方法を学び、文章表現力を身につけることを目的としています。

授業計画

第1回	オリエンテーション: 看護学生が文章表現を学ぶ必要性とは？
第2回	看護学生にとって「読む」こと、「書く」こととは
第3回	看護学生が「読む」ということ、その重要性と獲得すべき視点
第4回	看護学生が「読む力」を伸ばすために
第5回	看護学生が「書く」ということ、その重要性と獲得すべき視点
第6回	看護学生が「書く力」を伸ばすために
第7回	看護学生が「読んで書く」ということ
第8回	本授業のまとめ

- 授業方法
- (1). 本授業では、授業計画にある「読む」こと、「書く」ことの基本(日本語表現法)を学ぶ。
 - (2). 看護師は、多くの人々と情報共有をすることを求められていることを認識する。
 - (3). (1)(2)で学習したことをもとに看護における「書く」こと「読む」ことの力量を伸ばすための視点を学び看護学生が読む看護記録や実習記録の書き方を学ぶ(小レポート作成)。
 - (4). 最終レポートを作成し、グループディスカッションの場を設け、教員、学生同士で添削し合い、完成させ、報告する機会を設ける。

教科書 授業時に資料を配布する。

評価方法	出席・授業後のミニレポート	30%
	最終レポート	70%

分野	科目名	単位/時間数	時期	担当教員
基礎分野	英語 I	1単位30時間	1年前期	非常勤講師

授業のねらい

国際時代に対応する能力育成のために英会話の基礎を学ぶ

授業計画

第1回	Greeting, class information, student information, icebreakers
第2回	Who are you? (ch.A)
第3回	Sports and hobbies (ch.B)
第4回	Friends(ch.C)
第5回	Food and drink(ch.D)
第6回	Lifestyle(ch.E)
第7回	Family(ch.F)/ Midterm test
第8回	Clothing(ch.G)
第9回	Travel and holidays(ch.H)
第10回	A trip abroad(ch.I)
第11回	Mysteries(ch.J)
第12回	Education(ch.L)
第13回	The future(ch.O)
第14回	Post-summer speaking activities / Practice for test
第15回	Final speaking tests / Class wrap-up

授業方法	英会話
教科書	Octopus Activities : Perceptia Press
評価方法	英会話評価

分野	科目名	単位/時間数	時期	担当教員
基礎分野	英語Ⅱ	2単位45時間	1年前期	非常勤講師

授業のねらい

- 1、他の国々への知見を深め、国際的視野を広げる
- 2、看護現場で必要となる基本的な語彙・表現を繰り返し学習し、特に正しい発音に重点を置いた授業を展開する。

授業計画

第1回	クラス紹介、テキスト紹介、自己紹介、
第2回	Chapter 1 : Greeting and Registration
第3回	Chapter 1 / Vocabulary Quiz 1
第4回	Chapter 2 : Hospital Departments / Directions
第5回	Chapter 2 / Vocabulary Quiz 2
第6回	Chapter 3 : Vital Signs / Medical Questionnaire
第7回	Chapter 3 / Vocabulary Quiz 3
第8回	Chapter 4 : Internal Medicine (1)
第9回	Chapter 4 / Vocabulary Quiz 4
第10回	Chapter 5 : Internal Medicine (2)
第11回	Chapter 5 / Vocabulary Quiz 5
第12回	Chapter 6 : Internal Medicine (3)
第13回	Chapter 6 / Vocabulary Quiz 6
第14回	Chapter 7 : Urology
第15回	Chapter 7 / Vocabulary Quiz 7
第16回	Chapter 8 : Surgery / Orthopedics
第17回	Chapter 8 / Vocabulary Quiz 8
第18回	Chapter 9 : OB-GYN (Obstetrics and Gynecology)
第19回	Chapter 9 / Vocabulary Quiz 9
第20回	Chapter 10 : Pediatrics
第21回	Chapter 10 / Vocabulary Quiz 10
第22回	Final Assignment Introduction and Preparation
第23回	Final Assignment

授業方法	講義・英会話
教科書	看護英語の練習帳—インプットからアウトプットへ : 萌文書林
評価方法	2週間ごとに単語小テストです。最後の2週間はスピーキングの課題です。

分野	科目名	単位/時間数	時期	担当教員
基礎分野	人間関係論 I	1単位20時間	1年前期	非常勤講師

授業のねらい

体験学習を通して、自分や他者の感じ方やからだの動きかたに注意を向ける。体験学習では互いの体験を分かち合うことで、自他の感じ方や考え方の違いや共通点を知り、各々の独自性を理解し、自他の関係のありように気づき、自己洞察、他者理解を深める。

授業計画

第1回	【自己を知る】身心一如の観点から、自己肯定度質問紙、各人の全身写真の撮影を実施(初日と最終日)し、自己理解の補助とする。自分自身の考え方や身体的な有りようにどのような癖や特徴があるのかを掴む。
第2回	【感覚の覚醒】基本的なからだの動きや呼吸、からだの動きを通して、行住坐臥を整え、からだところのつながりを実感し、自己理解を深める。
第3回	【マインドマップ】体験学習の振り返方法の一つとして、マインドマップを作成し、図にすることで俯瞰的に自他の体験を捉える助けとする。以後、随時体験学習後の振り返りに取り入れる。
第4回	【自然と関わる】私たちは周囲(人、環境)とどのように関わっているのか。影響を与え、かつ影響をうけているのか、その相互性を実感し、探求する。
第5回	【ムーブメント】言葉だけでなく、身体表現・表出を通して、人は互いに交流している。たがいにどのような表現・表出をしているか、探求する。
第6回	【卵は立つのか】卵の実験を通して、感情や考えとからだ・行動のつながり、自分と他者、環境との関わりを探求する。
第7回	【バランスのとれた休息】休息の質が、身心の調え方に影響を与え、呼吸や活動の質にどのような変化を起こすのか探求する。
第8回	【与える受け取る】言葉だけでなく、まるごとのからだによって、相互に影響を与えあい、関わり合っていることを探求する。
第9回	【手当】他者のからだに耳を澄まし、他者に手をあててみる。他者に触れ、触れられる体験を通し、互いに感じ、共にいることを探求する。
第10回	【目隠し歩き】環境の中で、まるごとの自分を相手に預ける、預けられるという体験を通して、信頼はどのように生まれるのか、体感する。
教科書	レジュメを配布
評価方法	参加状況とレポートによる総合評価

分野	科目名	単位/時間数	時期	担当教員
基礎分野	人間関係論Ⅱ	1単位20時間	3年後期	非常勤講師

授業のねらい

3年次の体験学習では、臨地実習での看護体験もふまえ、自分と他者、環境との相互的な影響について、生活歴も含めて理解を深める。体験学習では、自己受容と他者受容はどのようにかかわっているのか探求する。体験学習から想起される日常生活や病院実習など具体的な体験を振り返る。ことば、思い、からだは深くかかわりあい、身心一如の人間である自他の理解を深める。

授業計画

第1回	【感覚の覚醒・動き】呼吸の様子、体の動きを通して自分自身の習慣的な癖(体・感情・考え方)有りようを掴み、理解する。また体の動きの全体的なバランスを調えることで身心への影響を実感する
第2回	【自然との対話】自然・環境との関わりを通して、どのような相互性があるのかを実感する
第3回	【マイシルエットの創作と鑑賞】自分のシルエットを素材にして、自分を表現してみる。他者のシルエット作品を鑑賞し、そこに表れた思いや創作過程を洞察する。
第4回	【群像】集団の中の一人として、他者の身体表現を読み取り、かつ自分を身体表現を通して、他者に伝える。表現に必要なものは何か探求。また意図せずに伝わる表出にも注意を向ける。
第5回	【与える受け取る】触れること、触れ方の質によって、互いが相互に影響しあうことを探求する。コロナ禍の中、人に近づくことに葛藤の起きやすいなかで、どのようにかかわるのか探求する
第6回	【バランスの取れた休息】休息の質が、身心の調え方や生活のリズムにどのような影響を与えのか、探求する。自分自身へのケアの必要性を考える。
第7回	【ムーブメント ミラーリング】互いに真似ることを通して、理解、共感、尊重する、その相互性を探究する。
第8回	【いのちの旅】人として全人的に人に関わるとはということなのか、その感性を探究する。

教科書 レジュメを配布

評価方法 参加状況とレポートによる総合評価

分野	科目名	単位/時間数	時期	担当教員
基礎分野	社会学	1単位30時間	2年前期	非常勤講師

授業のねらい

社会学の基本的な概念と理論を勉強し、発想の特徴を理解する。そして、社会学の異なる見方を学び、社会問題や社会課題についての思考力を高める。

授業計画

第1回	「社会学」の想像力と社会調査法
第2回	近代から現代へ：家族の変容と保健医療
第3回	多様化する性の概念
第4回	教育の役割と文化的再生産
第5回	労働と職業と健康
第6回	階級と階層：格差と社会的排除
第7回	少子高齢化社会と社会保障・福祉
第8回	地域社会・コミュニティとソーシャルキャピタル
第9回	グローバリゼーションと反グローバリズム
第10回	政治と社会運動
第11回	メディアとコミュニケーション
第12回	宗教と行為
第13回	社会学の見方と健康・病気の見方
第14回	災害・ストレス・社会関係
第15回	まとめ

授業方法 講義

教科書 アンビシャス社会学：北海道大学出版会

評価方法 毎回のミニレポート60%と期末レポート40%により評価する。

分野	科目名	単位/時間数	時期	担当教員
基礎分野	現代社会と家族	1単位15時間	2年後期	非常勤講師

授業のねらい

現代社会を取り巻く社会的な状況が変化してきています。今日は家族形態もさまざまで、その多様化する家族の現代的課題に向き合いながら、家族を取り巻く環境を理解し、時に多職種連携により包括的に支援していく視点についても考えながら、これから求められる家族支援のあり方について考えていきたいと思います。

授業計画

第1回	オリエンテーション	家族とは
第2回	家族とは	多様化する家族
第3回	少子高齢化がもたらす影響	
第4回	家族の機能と役割	
第5回	家族を取り巻く社会の動向	
第6回	現代家族で抱える悩み	
第7回	専門職としての家族支援(多様な支援の展開と関係機関との連携)	
第8回	1時間	家族支援のこれから まとめ

授業方法 講義・グループワーク

教科書 使用しない 適宜、参考資料(プリント)配布

評価方法 授業への参加意欲や授業毎の振り返り・課題に対する取り組み、まとめの試験により総合的に評価します

分野	科目名	単位/時間数	時期	担当教員
基礎分野	運動と健康	1単位15時間	1年前期	非常勤講師

授業のねらい

身体活動が人のからだにどのような変化を及ぼすのかを学習し、人の健康との関連について理解する。また、身体を動かす楽しさを知り、コミュニケーションや人間性の向上を図る。そして、自分自身についての健康と運動を考え、日常生活の中での運動の大切さを理解する。

授業計画

第1回	健康についての理解と自分自身の身体について知る。 簡易的な体力測定の実施
第2回	心拍数と運動強度の関係を知る
第3回	エアロビクス①フィットネスプログラム(ヨガ・有酸素運動) 筋力トレーニング
第4回	ニュースポーツ紹介①(ドッチビー・キャッチ・スティック等) ニュースポーツ紹介②(ペタンク)
第5回	レクリエーションを取り入れた運動遊び
第6回	身近な道具を使用した運動
第7回	エアロビクス②フィットネスプログラム(ヨガ・有酸素運動)
第8回	1時間 まとめ

授業方法 講義、実技

教科書 指定しない

評価方法 レポート作成、授業態度など総合的に評価

分野	科目名	単位/時間数	時期	担当教員
基礎分野	体育	1単位30時間	2年前期	非常勤講師

授業のねらい

スポーツを通して身体を動かす楽しさを知る。また、高齢化が進む現代社会における様々な健康阻害要因について学び、青年期から健康に関心を持つ重要性を理解する。さらに、さまざまなスポーツを体験し、自ら実践できる力を身につける。

授業計画

第1回	自己紹介ゲーム
第2回	自分自身の体について簡易体力テストの実践 筋カトレニング・サーキットトレーニング
第3回	野外活動の計画①(ウォークラリーの問題作成)
第4回	有酸素性運動のグループワーク・実践 ニュースポーツ体験(ドッチビー)
第5回	ニュースポーツ体験(モルック)
第6回	運動計画①(対象者の目的に合わせた運動計画) 野外活動の計画②(ウォークラリーの問題作成)
第7回	野外活動の実践・ウォーキング
第8回	運動計画①(対象者の目的に合わせた運動計画)
第9回	運動実践(体育館)
第10回	バスケットボール
第11回	バレーボール
第12回	バドミントン
第13回	卓球
第14回	運動実践発表①
第15回	運動実践発表②
	運動実践発表③
	まとめ

授業方法	実技
教科書	指定しない
評価方法	レポート作成、プログラム作成、出席状況、授業態度等を総合的に評価